

## 生態工学 2019 年度第 2 回理事会議事録

日 時：2019 年 10 月 31 日（木）13：30～15：30

場 所：東京文化会館 中会議室 2

### 【総務委員会】

#### 2019 年度総務委員会活動報告（10 月期）

(1) 会員数・賛助会員数について報告があった。

(2) 報告事項

・協賛名義使用依頼について

「アグロ・イノベーション 2019」、「日本マイクログラビティ応用学会第 31 回学術講演会」に対する協賛名義使用の承諾を行った。

(3) 審議事項

・当座預金について

現在使用している三菱 UFJ 銀行の口座の保有資金が枯渇したため、定期預金を解約することとなった。また、それに合わせて事務局費に関して(株)アドスリーに費用の値引きを検討いただく事となった。なお、表彰委員会には褒賞としてお渡ししている賞状・盾の作成費用を見直すこととなった。

・学生会員について

経費削減のため、現在行っている学生会員から正会員になった際の年会費 1 年間免除は廃止することとなった。また、学生会員が年会費の未納となった場合は、翌年度以降の学会誌の発送を停止することとなった

・リポジトリ公開について

承認することとなった。なお今後は、申請書を提出いただいた機関には、承認を行うこととなった。

・推薦依頼について

「日本農業工学会賞 2020 候補者、フェロー」については、執行部にて検討の上、推薦者を決定することとなった。

「2020 年度日本農学会賞受賞者」について、執行部にて検討の上、推薦者を決定することとなった。

「戦略的創造研究推進事業 統括実施型研究（ERATO）テーマ候補・研究総括候補」について、推薦者を募ることとなった

・参加について

「第三十五回国際生物学賞受賞式」について、参加希望者を募ることとなった。

「日本工学会令和元年度会長座談会」について、北宅会長がご出席できないため、出席者を募ることとなった。

「2020 年度農業環境工学フェデレーションによる合同大会への参画」について、北宅会長にご検討いただき、ご返答いただくこととなった。

## 【編集委員会】

### 2019年度編集委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

#### (1) 生態工学会誌の発刊

生態工学会誌「生態工学」31巻2号～31巻3号(2019年4月、7月発刊)を発行した(内容：原著論文1, 短報1 補足記事1, 投稿規程など, 総ページ48)。2019年10月8日時点で原著論文査読中1, 短報の査読中1、著者修正中が1報である。

また、31巻3号までをJ-STAGE上の電子ジャーナルとして公開した。

種類	2019年度「生態工学」掲載論文一覧			
	第31巻		第32巻	
	2	3	4	1
特別寄稿				
特集論文				
原著論文	1	1		
短報				
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿				
ニュース・企画・報告、 訂正記事など		1		

#### (2) 論文投稿先の見直しについて

分野により投稿数の偏りが多いことや、新たな分野を追加したほうがよいという意見があったため、論文投稿先の見直しを行っている。

#### (3) 広告掲載料の設定

裏表紙以外の広告掲載に関し、その広告料設定がなされていなかったため、設定に向けて協議している。

## 【企画委員会】

### 2019年度企画委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

(1) 日本地球惑星科学連合2019年大会（合同開催）

日 時：2019年5月26日（日）～5月30日（木）

会 場：幕張メッセ、東京ベイ幕張ホール（千葉市）

主 催：日本地球惑星科学連合

特記事項：5月26日にセッション「圏外環境における閉鎖生態系と生物システム」  
において、口頭発表とポスター発表を実施

(2) 2019年度生態工学会年次大会（主催）

日 時：2019年6月28日（金）、29日（土）

会 場：宇都宮大学峰キャンパス大学会館（栃木県宇都宮市）

参加数：74名

特記事項：

● 一般セッション口頭発表 14件、ポスターセッション18件

● オーガナイズドセッション（3企画）

「ISS後の有人宇宙活動に向けて一月面とその周回軌道を舞台にー」 5件

「草本系バイオマス作物エリアンサスを用いた原料生産と

バイオ燃料利用技術」 3件

● 一般公開特別講演会

講演1 「カラスなぜ遊ぶ」

宇都宮大学名誉教授 東都大学教授 杉田 昭栄氏

講演2 「生態系の中の植物ウイルス」

宇都宮大学理事・副学長 農学部教授 夏秋 知英氏

(3) 第63回宇宙科学技術連合講演会（共催）

日 時：2019年11月6日（水）～11月8日（金）

会 場：アスティとくしま（徳島県徳島市）

特記事項：

● 7日（木）にオーガナイズドセッション「宇宙で生きる！～ISSの彼岸～」を  
企画し、15件の発表を実施予定

(4) 第2回 生態工学サロン (主催)

日 時 : 未 定

会 場 : 未 定

(5) 定例研究会

第1回

テーマ : 光環境制御による付加価値植物の高効率生産

日 時 : 2019年5月28日 (火)

会 場 : 東京文化会館

講 師 : 大橋 敬子 氏 (玉川大学農学部)

第2回

テーマ : LE0/宇宙探査動向とそれを見据えた当社の取り組み (仮題)

日 時 : 2019年10月31日 (木)

会 場 : 東京文化会館

講 師 : 峰松 拓毅 氏 (有人宇宙システム株式会社)

※第3回も理事会後に実施する予定

## 【表彰委員会】

### 2019年度表彰委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

#### (1) 表彰式の実施

2019年6月28～29日、宇都宮大学峰キャンパス大学会館にて開催された2019年度年次大会にて、以下の通り表彰した。

#### 生態工学会賞学術賞

渡邊 博之 殿

LEDを光源とした植物工場の開発に関する研究

#### 論文賞

板倉 健太 殿

移動型スキャングライダーによる樹高測定に必要な移動距離の算出および地上および高所からの3次元画像の位置合わせによる樹高測定

#### 優秀講演賞

遠藤 良輔 殿

機械学習による植物葉画像からの形態的特徴の抽出

奥岡 佳純 殿

ワサビ栽培における最適な遮光資材の評価

遠藤 雅人 殿

クエ養殖廃水を用いたサリコルニア *Salicornia bigelovii* の水耕栽培に関する基礎的研究

田中 都 殿

ホップ香気成分の分析条件およびターゲット成分の検討

西野 康人 殿

溶存酸素濃度の経時的動態による一次生産力測定法の検討

遠藤 良輔 殿

異なる鉄濃度で培養したメタン発酵におけるメタゲノミクス・分光特性の統合解析

#### (2) 2020年度学会賞候補者の募集

2020年度学会賞候補者の推薦を募集しています。

締め切りは11月30日。

(3) 賞状および記念品の送付

2019 年次大会において優秀講演賞を受賞された方々に賞状と記念品の準備を行い、送付した。

下記審議がなされた。

表彰委員会より、「生態工学会表彰規定」、並びに「優秀講演賞細則」の変更が提案され、理事会はこれを承認した。また、次回理事会にて「生態工学会表彰規程」第8条における奨励賞の対象となる期間、並びに対象者の年齢について審議することとなった。

「優秀講演賞細則」については、当講演賞の受賞該当者になることを希望するかどうかを事前に文書にて確認を行い、希望者のみを対象とすることとなった。

## 【広報委員会】

### 2019年度広報委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

- SEE Quick 配信（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法を通して、会員および関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ、2019年4月1日から2019年10月15日までに35回（1527より1962号：通算1562回（400号分欠番））の情報提供を行った。円滑なSEE Quickの配信業務を行うとともに、問題点などを検証し改善に努める。また、会員からの有用な情報を迅速に配信できる体制を維持する。

- HP の内容の更新

迅速なHPの内容の更新と整備を行い、会員および一般の方への情報提供を行う。また、HPコンテンツ拡充のため、他学会HP等の内容を調査し、当学会HPの充実・改善に努める。

下記の議論がなされた。

パンフレットの更新について、広報委員会に対応していただきたい旨の意見がなされた。



## 【次世代科学社会活性化委員会】

### 2019年度次世代科学社会活性化委員会活動報告（10月期）

下記の報告がなされた。

○引き続き、男女共同参画学協会連絡会の運営委員として活動を継続している。生態工学会は、男女共同参画学協会連絡会内で、日本宇宙生物科学会と共に、「男女共同参画学教会連絡会」に関する問題洗い出しWG活動を行っている。同様に引き続き活動する。

○地球惑星科学連合大会 2019 で、本委員会による若手の会を開催した。次回も予定している。次世代科学社会応援シンポジウム 2020 委員会の合同会議として加藤浩委員を中心に開催した。次世代応援シンポジウムは、今後は当委員会が中心で進めることになった。

○参加を予定していた男女共同参画学協会連絡会主催のシンポジウムが台風 19 号の関東直撃のため中止された。要旨原稿を提出していることから、要旨原稿の参加となった。

○次世代科学社会応援シンポジウム 2021 を協賛する予定。本学会、三重大大学の加藤浩理事を中心に進めている。これに際し、次世代科学社会応援シンポジウムを、生態工学会当委員会の主催とするかを検討している。

## 【各支部活動】

### 2019年度各支部活動報告（10月期）

下記報告がなされた。

#### 【関東支部】

2019年度活動（10月31日まで）

総会以降、具体的な活動は行えていない。

今後の予定

理事会時に、今後の予定を検討したい。

生態工学サロンが、関東地区で行われていることより、ジョイント企画を検討したい。

#### 【関西支部】

11月30日に、大阪府立大学学術交流会館において、日本農業気象学会近畿支部会との共催で、以下の要領で開催予定である。

特別講演会「気候変動とその生態系や私達の暮らしへの影響を考える（5）」  
生態工学会関西支部・日本農業気象学会近畿支部共催

日時： 2019年11月30日（土） 14:00～16:45

場所： 大阪府立大学学術交流会館

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

1. 古典籍から調べる植物と環境  
青野靖之（大阪府立大学生命環境科学域）
  2. 地球温暖化が植物の揮発性炭化水素放出に及ぼす影響  
奥村智憲（大阪府環境農林水産総合研究所）
  3. タイトル未定  
増田篤稔（玉川大学農学部）
- 17:00頃～ 《情報交換会》

**【参加費など】**

情報交換会に参加予定の方は、必ず日本農業気象学会近畿支部事務局（遠藤幹事）まで、E-mail ([kinki\\_agrmet\\_mtg@envi.osakafu-u.ac.jp](mailto:kinki_agrmet_mtg@envi.osakafu-u.ac.jp)) でお申し込み下さい。（申し込み期限11月27日17時）

情報交換会参加費 一般：4,000円，学生：2,000円(予定)

なお、同日9:45～12:00、同会場で日本農業気象学会近畿支部大会研究発表会が開催されますので、ご興味のある方はご参加ください（参加費1,500円）

**【お問い合わせ】**

その他、不明点につきましては関西支部長（伊能）までお問い合わせください。

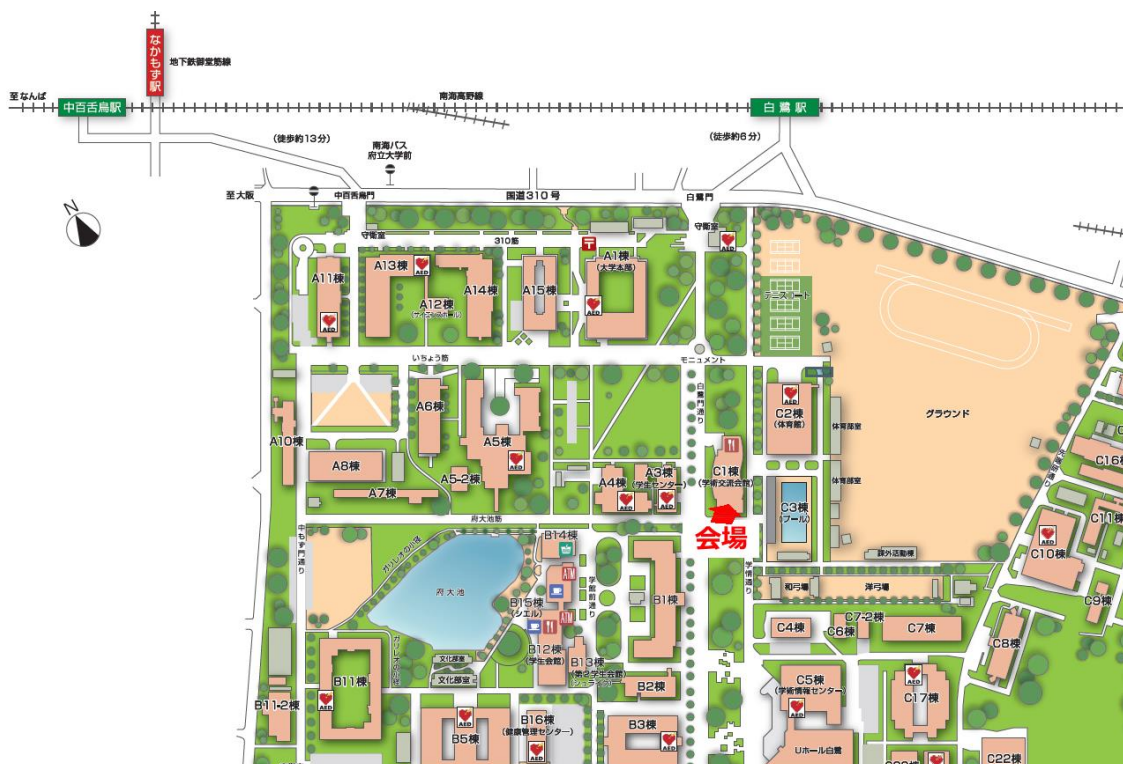
E-mail ([toshirou.inou@grp.daikin.co.jp](mailto:toshirou.inou@grp.daikin.co.jp))

## 【会場へのアクセス】



### 中百舌鳥キャンパスまでのアクセス

- ◆ 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分。
- ◆ 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1,000m、徒歩約13分。
- ◆ 地下鉄御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から南東へ約1,000m、徒歩約13分。



## 【その他】

下記報告がなされた。

### 【2020 生態工学会年次大会について】

日時： 2020年6月18日(木)から19日(金)  
場所： 三重大学 (詳細は調整中)  
大会参加予定人数： 100名程度  
発表件数： 昨年と同等数を予定  
共催： 三重大学 生物資源学部  
会費： 未定

(開催場所の検討状況)

学会事務局・会議の部屋 (調整中)：

担当部署：生物資源学部1F事務室

生物資源学部の部屋を(1-2部屋?)借りて開催予定

大会会場 (調整中)

環境・情報科学館(1F展示ホール)：仮押さえ可能

担当部署：国際環境教育研究センター

申請書類等HP：<http://www.gecer.mie-u.ac.jp/MEIPL.html>

1F正面に大型画面がある。学生の出入りがあり使いにくい可能性がある(1階を貸し切りに出来れば可能かも)。ボードを30枚利用可能)

環境・情報科学館(3F)：年内予約不可、授業、学内行事優先

担当部署：附属図書館・・・環境・情報科学館2Fカウンター

今年12月以降に授業等の日程を決める関係で予約不可(2019年12月から2020年1月に予定を伝え、空きがあれば使用可能)

三翠会館 小ホール：年内予約不可、授業、学内行事優先

担当部署：社会連携チーム

HP：<http://www.mie-u.ac.jp/gakunai/shien/koudou/k-top.html>

今年12月以降に授業等の日程を決める関係で予約不可(2019年12月から2020年1月に予定を伝え、空きがあれば使用可能)

懇親会 (調整中)

：大学生協第一食堂を予定

発表件数についての詳細 (昨年と同等数を予定)

- ・口頭発表件数：15-20件程度(3セッション程度)
- ・ポスター発表件数 20件程度
- ・オーガナイズドセッション 2-3件程度
- ・三重大学 生物資源学部 共催で特別講演を予定?